



平成26年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月11日

上場取引所 東

上場会社名 アゼアス株式会社

コード番号 3161 URL <http://www.azearth.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沼尻 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理部部長 (氏名) 羽場 恒彦

TEL 03-3865-1311

四半期報告書提出予定日 平成25年12月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第2四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	4,136	△5.1	46	205.1	50	—	25	—
25年4月期第2四半期	4,357	△19.1	15	△95.5	△5	—	△20	—

(注) 包括利益 26年4月期第2四半期 51百万円 (—%) 25年4月期第2四半期 △21百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第2四半期	4.30	—
25年4月期第2四半期	△3.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年4月期第2四半期	7,648	5,110	66.8
25年4月期	7,638	5,159	67.5

(参考) 自己資本 26年4月期第2四半期 5,110百万円 25年4月期 5,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	17.00	17.00
26年4月期	—	0.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,478	9.7	259	100.8	262	130.5	150	281.9	25.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年4月期2Q	6,085,401 株	25年4月期	6,085,401 株
② 期末自己株式数	26年4月期2Q	171,796 株	25年4月期	171,796 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年4月期2Q	5,913,605 株	25年4月期2Q	5,913,415 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成25年12月18日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
(重要な後発事象)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融政策等により円安や株価の上昇等が見られ、景気回復の兆しが見受けられました。一方、長引く欧州経済の停滞や新興国経済の減速懸念等の影響もあり、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間においては、売上面では、防護服・環境資機材事業、たたみ資材事業、アパレル資材事業のいずれの事業においても需要の本格的な回復には至らず減収となりました。一方利益面では、前年同四半期は上場関連費用等の特殊要因があったことにより増益となりました。その結果当第2四半期連結累計期間の売上高は、4,136百万円（前年同四半期比5.1%減）、営業利益は46百万円（前年同四半期比205.1%増）、経常利益は50百万円（前年同四半期は経常損失5百万円）、四半期純利益は25百万円（前年同四半期は四半期純損失20百万円）となり減収増益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

主力事業であります防護服・環境資機材事業におきましては、原子力発電所向け販売が伸び悩んだことに加え、一般産業向け需要も本格的な景気回復には至らず、比較的低調に推移しました。この結果、売上高は1,722百万円（前年同四半期比7.6%減）、セグメント利益（営業利益）は127百万円（前年同四半期比16.3%減）となり減収減益となりました。

たたみ資材事業におきましては、前連結会計年度においても流通段階の畳表の供給量が需要に比べて多い状況で推移しましたが、当第2四半期連結累計期間においてもこの傾向が続いており、畳表等の販売が低調に推移しました。この結果、売上高は824百万円（前年同四半期比14.8%減）、セグメント利益（営業利益）は30百万円（前年同四半期比20.0%減）となり減収減益となりました。

アパレル資材事業におきましては、カジュアル、スポーツ分野は依然販売減少傾向にありますが、ユニフォーム分野の需要が若干改善傾向にありました。また利益面では、資材の価格が昨年に比べ、比較的安定したこともあり、売上高は1,014百万円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント利益（営業利益）は75百万円（前年同四半期比8.4%増）となり減収増益となりました。

なお、報告セグメントに配分していない一般管理費の全社費用は、193百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、5,896百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が68百万円増加、商品及び製品などのたな卸資産が139百万円増加し、現金及び預金が152百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、1,752百万円となりました。これは、主として償却により無形固定資産が16百万円減少、退職給付引当金の減少で繰延税金資産が減少したことなどにより投資その他の資産が15百万円減少し、福山事業所の土地等を売却した一方で本社社屋建替えにより建物などを取得したことなどにより有形固定資産が8百万円増加したことなどが原因であります。

この結果総資産は、前連結会計年度末に比べて10百万円増加し、7,648百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.5%増加し、2,165百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が267百万円増加、1年内償還予定の社債が85百万円増加し、本社社屋建替えの代金支払いなどにより未払金が139百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて25.8%減少し、372百万円となりました。これは、主として1年内償還予定の社債を流動負債へ振り替えたため、社債が110百万円減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、5,110百万円となりました。これは、主として配当等で利益剰余金が75百万円減少し、その他の包括利益累計額が26百万円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて152百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,656百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、124百万円（前年同四半期は、633百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、仕入債務の増加251百万円等であります。支出の主な内訳は、たな卸資産の増加130百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、162百万円（前年同四半期は、20百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、本社社屋など有形固定資産の取得による支出299百万円であります。収入の主な内訳は、福山事業所の土地等売却など有形固定資産の売却による収入137百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、125百万円（前年同四半期は、123百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額100百万円、社債の償還による支出25百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月期の連結業績予想につきましては、平成25年6月12日に公表いたしました連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,159,252	2,006,426
受取手形及び売掛金	2,352,452	2,420,531
商品及び製品	1,078,598	1,191,236
原材料	174,804	201,544
その他	105,494	82,688
貸倒引当金	△7,361	△6,195
流動資産合計	5,863,241	5,896,231
固定資産		
有形固定資産	1,358,536	1,367,516
無形固定資産	105,839	89,287
投資その他の資産		
投資有価証券	177,961	172,837
その他	133,390	123,080
貸倒引当金	△443	△114
投資その他の資産合計	310,908	295,803
固定資産合計	1,775,284	1,752,607
資産合計	7,638,525	7,648,838
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,532,342	1,799,915
短期借入金	13,700	13,700
1年内償還予定の社債	50,000	135,000
未払金	183,772	43,985
未払法人税等	53,255	22,047
賞与引当金	58,700	62,800
その他	85,146	88,132
流動負債合計	1,976,916	2,165,581
固定負債		
社債	180,000	70,000
退職給付引当金	225,541	203,285
役員退職慰労引当金	96,320	99,160
固定負債合計	501,861	372,445
負債合計	2,478,778	2,538,027

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,645	887,645
資本剰余金	1,052,877	1,052,877
利益剰余金	3,190,240	3,115,142
自己株式	△22,670	△22,670
株主資本合計	5,108,092	5,032,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,604	36,474
為替換算調整勘定	12,049	41,340
その他の包括利益累計額合計	51,654	77,815
純資産合計	5,159,746	5,110,811
負債純資産合計	7,638,525	7,648,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
売上高	4,357,687	4,136,507
売上原価	3,562,866	3,371,588
売上総利益	794,821	764,918
販売費及び一般管理費	779,637	718,589
営業利益	15,183	46,328
営業外収益		
受取利息	388	309
受取配当金	1,905	1,952
受取賃貸料	1,337	1,320
その他	711	4,166
営業外収益合計	4,342	7,748
営業外費用		
支払利息	1,199	1,181
為替差損	1,806	2,269
上場関連費用	22,000	—
その他	26	38
営業外費用合計	25,032	3,489
経常利益又は経常損失(△)	△5,505	50,587
特別利益		
固定資産売却益	—	13,148
投資有価証券売却益	29	—
特別利益合計	29	13,148
特別損失		
固定資産売却損	—	805
固定資産除却損	12,357	840
減損損失	2,000	1,155
投資有価証券売却損	15	—
特別損失合計	14,373	2,801
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△19,849	60,933
法人税、住民税及び事業税	17,416	23,597
法人税等調整額	△16,664	11,902
法人税等合計	751	35,499
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△20,601	25,433
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,601	25,433

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△20,601	25,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,096	△3,129
為替換算調整勘定	6,934	29,291
その他の包括利益合計	△1,161	26,161
四半期包括利益	△21,763	51,595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21,763	51,595
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△19,849	60,933
減価償却費	35,696	42,829
減損損失	2,000	1,155
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,387	△1,691
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,000	4,100
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	73,195	△23,680
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,620	2,840
受取利息及び受取配当金	△2,293	△2,262
為替差損益(△は益)	△281	△1,257
支払利息	1,199	1,181
投資有価証券売却損益(△は益)	△13	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△12,342
固定資産除却損	12,357	840
売上債権の増減額(△は増加)	567,794	△41,085
たな卸資産の増減額(△は増加)	△80,557	△130,071
仕入債務の増減額(△は減少)	209,911	251,378
前渡金の増減額(△は増加)	12,554	△6,231
未払金の増減額(△は減少)	△1,832	△961
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,933	28,394
その他	813	3,688
小計	774,992	177,757
利息及び配当金の受取額	2,219	2,400
利息の支払額	△1,236	△1,231
法人税等の支払額	△142,899	△54,454
営業活動によるキャッシュ・フロー	633,075	124,471
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	48,185	—
投資有価証券の取得による支出	△1,635	—
投資有価証券の売却による収入	169	—
有形固定資産の取得による支出	△41,811	△299,478
有形固定資産の売却による収入	—	137,249
無形固定資産の取得による支出	△15,000	—
有形固定資産の除却による支出	△9,885	△2,472
保険積立金の積立による支出	△1,027	△597
保険積立金の解約による収入	—	1,726
その他	410	1,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,594	△162,173

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△25,000	△25,000
自己株式の処分による収入	824	—
配当金の支払額	△99,734	△100,403
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123,910	△125,403
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,332	10,280
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	490,902	△152,825
現金及び現金同等物の期首残高	1,190,977	1,809,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,681,880	1,656,426

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,863,504	967,648	1,054,931	3,886,084	471,603	4,357,687	—	4,357,687
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	133	—	4,191	4,324	12,583	16,908	△16,908	—
計	1,863,637	967,648	1,059,123	3,890,409	484,186	4,374,595	△16,908	4,357,687
セグメント利益	151,920	37,811	69,781	259,514	15,140	274,655	△259,471	15,183

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額1,928千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△261,399千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,722,556	824,779	1,014,948	3,562,284	574,222	4,136,507	—	4,136,507
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	993	0	11,745	12,739	26,689	39,429	△39,429	—
計	1,723,550	824,780	1,026,693	3,575,024	600,911	4,175,936	△39,429	4,136,507
セグメント利益	127,117	30,249	75,631	232,998	7,244	240,243	△193,914	46,328

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△62千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△193,852千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

1. 株式取得による会社等の買収

当社は、平成25年12月11日開催の取締役会において、株式取得による会社の買収について決議いたしました。その概要は次のとおりであります。

(1) 株式取得の目的

アパレル資材事業の一層の収益体質の強化及び全社の物流体制の効率化

(2) 株式取得の相手方の名称

澤田匡宏、澤田幸江他親族及び株式会社リープ

(3) 買収する会社の名称、事業内容、規模

会社の名称：丸幸株式会社

事業内容：ユニフォーム、スポーツ、カジュアル用衣料素材・副資材の企画・販売

規模：平成25年1月期 資本金24,000千円、純資産278,372千円、総資産1,204,222千円、

売上高1,513,001千円、営業利益4,052千円

(4) 株式取得の時期

平成26年2月3日

(5) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持株比率

取得株式数：32,000株

取得価額：177,000千円（予定）

取得後の持株比率：100%

(6) 支払資金の調達及び支払方法

自己資金による一括支払い

2. 重要な自己株式の処分

当社は、平成25年12月11日開催の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分について決議いたしました。その概要は次のとおりであります。

(1) 自己株式の処分の理由

丸幸株式会社代表取締役社長澤田匡宏氏に、当社が丸幸株式会社の株式を取得した後も当社グループの事業の進展に責任ある立場で取組んでもらうため。

(2) 処分の方法、処分する株式の数、処分価額

処分の方法：第三者割当による処分

処分する株式の数：150,000株

処分価額：63,150千円

(3) 処分の時期

平成26年2月4日